

柴崎委員からのご意見 (3月3日事前説明時)

1. 場所コードの与え方について

インテリジェント基準点への場所コードの付与の方法として、先頭の128bitに概略位置をあたえ、さらに続く128bitにも緯度経度を盛り込む方法が提案されている。これは冗長であり、必要ではないとも考えられる。しかし、RFIDを用いない早期の実用化等を考慮すると、このような方法を採用することは妥協案として仕方ないと思う。

2. インテリジェント基準点の利用方法について

基準点のIDを測量時に参照・記録させることで、測量作業自体を効率化できるばかりでなく、ダイナミック測地系（地殻変動等の補正を行う測地系）に基づいて基準点座標が変更になった際、その基準点を用いて得られたさまざまな測量成果の改算が可能になるほか、基準点そのものの亡失管理も可能になる。このように基準点のインテリジェント化は、測量の精度管理・効率化に有効であり、公共基準点のインテリジェント化についても、国家基準点と同じ仕組みで行うことを義務づけるべきである。